

平成 23 年 9 月 13 日

各 位

会 社 名 シーシーエス株式会社  
代表者名 代表執行役社長 米田 賢治  
(JASDAQ・コード6669)  
問合せ先  
役 職 経理財務グループマネージャー  
氏 名 梶原 慶枝  
電 話 075-415-8280

## 「継続企業の前提に関する注記」の記載の解消に関するお知らせ

当社は、本日発表の「平成23年7月期決算短信」において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

当社グループは、平成 22 年 7 月期決算において、過去 2 期連続して連結ベースで営業損失、経常損失および当期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローも大幅なマイナスとなったこと、また、連結子会社である株式会社フェアリープラントテクノロジー（以下、フェアリープラントテクノロジー）においては継続して営業損失、経常損失および当期純損失を計上したことから債務超過の状況に陥ったこと、その結果、当社が締結しておりましたシンジケーション方式によるコミットメントライン契約に付された財務制限条項に抵触したことなどから、平成 22 年 7 月期末決算より継続企業の前提に関する事項について注記を記載しておりました。

このような状況に対して当社グループは、中期経営計画を策定し、LED 照明事業の強化・拡大、フェアリープラントテクノロジーの構造改革に取り組んでまいりました。LED 照明事業におきましては、国内販売の強化・拡大とともに、海外事業部門を新設してグローバル拡販を推進し、平成 23 年 7 月期の海外売上高は前期比 27.2% 増の 1,791 百万円を計上いたしました。フェアリープラントテクノロジーにおきましては、不採算事業から撤退し、コスト管理を徹底して行いました。併せて、第三者割当増資をデット・エクイティ・スワップの方法で実施し、債務超過額を圧縮するとともに財務コストの削減を図りました。

以上の結果、当期は連結ベースでの営業利益 228 百万円、経常利益 179 百万円、当期純利益 89 百万円、単体では営業利益 432 百万円、経常利益 371 百万円、当期純利益 298 百万円と連結・単体ともに黒字化を達成いたしました。加えて、フェアリープラントテクノロジーにおきましては、赤字幅を大幅に縮小し、当社管理の元、今後の事業計画を抜本的に見直しました。また、平成 23 年 7 月期第 3 四半期決算にてご報告しましたとおり、コミットメントライン契約は平成 23 年 6 月 14 日をもって契約期限満了となり、各金融機関との個別契約に移行したことから、財務制限条項への抵触についても解消しております。

業績の改善に伴う営業キャッシュ・フローのプラスの改善に加え、平成 23 年 7 月には第三者割当による優先株式発行により約 10 億円の資金調達を行い、中期経営計画実現のための成長資金を確保いたしました。さらに、コミットメントライン契約からの借り換え契約につきましては、長期・安定的な資金として活用できるよう、各金融機関のご支援をいただける見込みとなりました。

以上の結果、平成 22 年 7 月期決算より平成 23 年 7 月期第 3 四半期連結会計期間まで記載しておりました「継続企業の前提に関する注記」を、本日発表の「平成 23 年 7 月期決算短信」において解消することといたしました。

以 上